

雨氷に覆われた幻想的な大岳山(1267m)に登る

日程：2016年 1月31日

コース：JR 御嶽山駅～大岳山～JR 御嶽山駅

メンバー：深澤 裕（単独）

嶽山のケーブルが1月18日～3月31日まで巻上設備更新工事のため休みです。静かな登山ができると思い大岳山に登りました。9時30分に滝本駅から歩き始めます。晴天でしたが杉に付いている雪が融け、雨のように降り注ぎます。思わず雨具を取り出しました。1月16日の大雪がかなり残っています。参拝客・登山客は皆さん歩いて登ります。この日は20人くらいの方がいました。ケーブルが動いていないのはこんなに静かなことなのか、としみじみと感動して歩きました。

10時30分にビジターセンターでスパッツを着けます。かなりの雪ですが除雪はしっかりとしてあるので生活道路を歩く分には問題ありません。見上げると、巨大な神代欒（じんだいけやき）の枝にも氷が付き、太陽の光に輝いています。雨氷です。



「モチモチの木」という絵本を思い出しました。主人公の豆太と一緒に峠で暮らすおじいさんが倒れた夜、医者様を呼びに一人で峠を下ります。帰りにモチモチの木の枝々が月の光で輝いている。豆太が観た場面はこんなだったのではないかなと思うような美しさです。

御嶽神社の山門をくぐって大岳山への道に入ると積雪30cmほどの雪道です。長尾平でアイゼンを着けます。ピッケルを持ってきて正解です。

芥峠（あくたとうげ）を過ぎる辺りから更に氷が枝に貼り付き、枝がその重みで垂れ下がっています。倒木も何本かあります。周りの木々がこの雨氷に覆われ凄いです。枝に付いた氷が溶けて落ちる。3cm～5cm位の氷がざらざらと雪の上に溜まっています。山頂付近は雨氷に囲まれ幻想的です。曇り空になりガスも出てきました。12時30分。大岳山頂着。積雪60cm。山頂には6人。展望は全くなくなりました。



アイゼンを効かせながら14時30分「長尾茶屋」着。Kさんが茶屋を開けていました。Kさんは天空のソムリエとして今や有名人です。私は彼がPホテルでソムリエ時代の頃に知り合いました。ホットワインが美味しい茶屋です。ここで暫し休憩します。マッスルの缶詰を開け、八海山の燗酒をいただきます。この正月は御嶽山の参拝客は少なかったそうです。現在は拝殿の工事（漆を塗り替えている）で全面シートに覆われているそうです。アイゼンを外し「長尾茶屋」を下ります。

途中でお供物（おくもつ）を運ぶ女性と立ち話をしました。お供物とは神様にお供えする物で「米・野菜・酒・生魚・生肉」が入った木箱です。御嶽山の神様はオオカミなので生魚・生肉なのだそうです。どんなときでも毎日、お供物は届けるそうです。2年前の2月11日の大雪のときも神社まで届けたそうです。1000年以上続く凄い文化です。御師（おし）の持ち回りだそうです。

16時10分。滝本駅着。約6時間の幻想的なトレッキングでした。